

主夫をしています

神原 省治 先生のメッセージ

お久しぶりです

皆様



皆さんお元気ですか。私が「九里学園 米沢女子高等学校」に
新卒で西も東もわからずに赴任したのは、1957（昭和32）年の4月ですから
大分前のことになります。

当時を思い出すと第一印象は、生徒さんはみな大人で、よく勉強することでした。
授業に行くときと実に静かで全員きちんと姿勢を正して待っている。机上には教科書、ノート、
筆箱が揃い、鉛筆は削られていると言うように授業に臨む態度は満点でした。3年生で数学の
授業でした。当時の皆さんは、内容は勿論みなお忘れのことでしょうが、懐かしい思い出のひとつ
です。3年目からは本職の生物を担当することになりました。部活は科学班で、百葉箱を自作し毎日の気象観測をやり、
記録を続けました。一方アメリカザリガニは、私にとり大変珍しかったので、その分布を調べることにしました。当時の
生徒さんは、忍耐強く丹念に野外調査にいきました。また結果を市内高校の理科部会で発表したり、「松友」に載ったり
しました。生徒さん達を、大学の臨海実習に参加させてもらったのも思い出です。

昔のことだけになりましたが、定年退職してからは、講師、教育研究所、事務室と2000（平成12）年3月まで43年間勤
めさせていただきました。その後は、ペースメーカーを入れながらも、時折卒業生の方々からお誘いを受け、飲食会で人
生哲学の教を受けています（老いては…です）。

また、妻がよく目が見えないので毎日主夫をしています。家事をしていると、一日の過ぎるのが早いですね。家事の指
導がてら遊びに来てください。

皆さんの益々のご健勝をお祈りしています。

集合場所や沿道では多数の人々が笑顔や拍手で迎えてくれました。松ヶ根橋ま
で六分まで走り、東高の斎藤さんへ点火。大役を果たせ安堵したことを思い出しま
す。



昭和三十九年九月三十日。
聖火正走者選ばれた私は、早朝から雨の中で
走る速さを調整しながら、繰り返し練習しました。
我が校からは体育部長と陸上競技部主将の私、その
他二十四名が選出されました。
幸い雨は止み、成島町十字路に、私と副主将が
トーチを、他は五輪旗を持って二列に並び前走者
が来るのを緊張で胸を躍らせながら待ちました。
いよいよ興譲館の須貝さんが到着し、聖火の点火。
私はトーチを高々と上げ大きな声で「責任を持っ
てリレー致します。」と言って出発しました。

私の高校時代

栄誉ある聖火を運ぶ

聖火に点火された時、周りが見えない程の煙の中、白バイ六台を先頭
に、我校と五中の皆さん計二十三名で山交支社前を出発し、米沢駅を経
由相生橋迄走りました。沿道では歓迎の日の丸の小旗を振ったり、拍手
で迎えて下さったり、声援を掛けて下さる観衆の皆さんで一杯でした。
相生橋上では、聖火が重くなったので少し下げようかと思いましたが、
前方にカメラマンが見えたので、最後迄姿勢を保って走り、完走後全員
笑顔で写真を撮って戴いた事を思い出しま
す。後日戴いた記念のメダルには「諸君は
聖火リレー走者としての感激がいつまでも
生かされ、立派な日本人として成長される
様祈っている」愛知揆一文部大臣と添書さ
れていました。クラブ活動や生徒会で頑
張った事が、リレー走者に繋がったのだと
私の心の中の誇りになっています。



小林 芳子さん（旧姓 佐藤 S40年卒）

島貫 道子さん（旧姓 浅野 S四〇年卒）